

各地に伝えられてきた個性派きゅうりが勢揃い！

## ～在来きゅうりフェスタ～

2017年7月29日(土) 13:00～16:00

いま店頭に並んでいるきゅうりのほとんどは、1960年代後半以降に普及した「白いぼ」品種です。

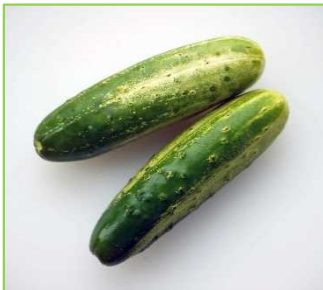
それは、どのように誕生したのでしょうか。そのプロセスで伝統種が果たした役割は...。きゅうりの伝来から地方品種成立までの物語を知り、現在のきゅうりから見る在来種の価値を学びます。

講師は、きゅうりのことならこの方以外にいない、といわれる日本の第一人者、稲山光男氏。貴重なお話を聞くことができる、またとない機会です。

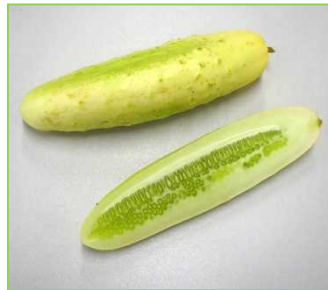
個性的な在来きゅうりを各地から集めます。もちろん食べくらべや、いつも大人気のお料理の試食も用意します。ぜひご参加ください。

今もひそかに愛される地方のきゅうりにスポットをあてます

▽糠塚 (青森)



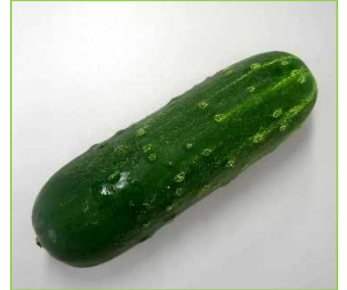
▽勘次郎 (山形・最上)



▽いわき昔 (福島)



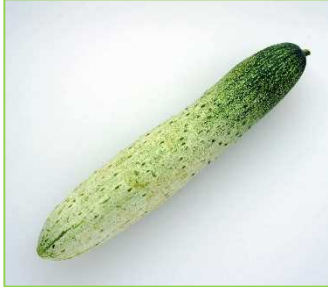
▽加賀太 (石川)



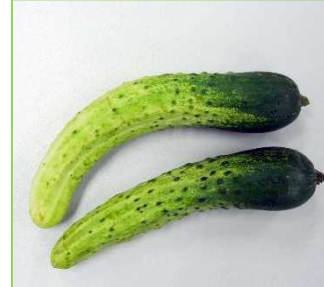
▽八町 (長野)



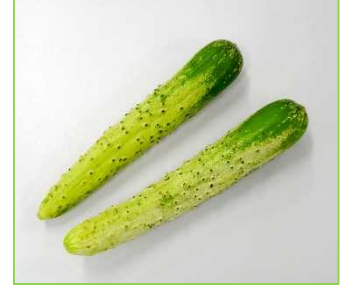
▽高山 (群馬)



▽馬込半白 (東京)



▽大和半白 (奈良)



▽美馬太 (徳島)



▽島うり (鹿児島)



講師：稲山光男氏

1943年生まれ。埼玉県農業試験場越谷支場、埼玉県園芸試験場そ菜部など、現・埼玉県農林総合研究センターにおいて、おもに施設栽培のきゅうりに関する研究を行う。

現在は、三菱樹脂アグリドーム株開発センター守谷研究農場で研究開発のかたわら、各地の野菜畑で汗を流し、畑の野菜たちから元気をもらいながら過ごしている。

※栽培状況などによって、写真のきゅうりがすべて揃うとは限りません。あしからずご了解ください。

日時：2017年7月29日(土) 13時～16時 (12時30分受付開始)

会場：東京都青果物商業協同組合ビル8階セミナールーム (千代田区神田松永町104番地)

JR秋葉原駅中央改札口徒歩2分 参加費：5,000円 定員：40名 (定員に達ししだい締め切ります)

お申し込み方法：申込書にご記入の上、FAX、またはEメールをお送りください

お問い合わせ：伝統野菜プロジェクト事務局 TEL03-5315-4977 (10:00～18:00) FAX03-5315-4978

Eメール：[kusama@wordsworks.co.jp](mailto:kusama@wordsworks.co.jp)